



中学部 国語科 一題材の実践と振り返り

題材名：『化石発見隊』で、主語と述語の関係や指示語が表す内容を読み取り、問いに答えて化石のシールを集めよう

実践事例

題材目標

授業者：田中 教司

【学習指導要領の段階と内容】

中学部1段階 C 読むこと

知・技：ア(オ) 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解すること。

イ(ア) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解すること。

思・判・表：C イ 語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えること。

学 び：言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。

知・技

『化石発見隊』で「鳥になったきょうりゅうの話」の問題シートの問いに答える時、語の意味や指示語が指す事柄、主語と述語の関係がわかり、3から4つの文章のまとまりの内容を読み取って整理プリントの空欄に入る言葉を書く

思・判・表

「鳥になったきょうりゅうの話」の文章全体を読む時、語の意味や指示語が指す言葉、主語述語の関係を考えて、話の流れや内容の大体に合う文章になるように本文から語句を選び、まとめプリントの空欄に書く

学び

授業プリントなどに取り組む時に問いの内容から指示語が指す言葉や主語と述語の関係について考えて本文を読み返して答えを探す

授業づくりの手順

※表出像…思考から判断の過程を経た結果、未知の課題を解決する児童生徒の姿

前題材までの到達状況から表出像を列挙する

列挙した表出像を段階化する

段階化した表出像の一覧から、グループの在籍生徒それぞれの指導内容の範囲を決定する

指導内容の範囲となった表出像に必要な知識及び技能を列挙する

各児童(生徒)の指導内容(知・技)の習得のために知識及び技能の内容を細分化・段階化する

細分化・段階化した知識及び技能の一覧と題材終了時までの表出像を実態表の項目として、児童(生徒)の実態を把握する

実態把握の結果から、中心として取り上げる知識及び技能を決定する

知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる

教材の仕組みを決定する

学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる

題材開始

R研で毎時間の授業の評価・改善

題材終了

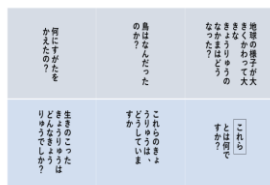
観点別評価の実施

【教材と仕組み】『化石発見隊』

・段落ごとに設定されている問題を解く

内容を正しく読み取り、問題を解く度に化石パーツシールが手に入り恐竜の化石が完成する

完成!



〈問題シート〉



化石パーツシール

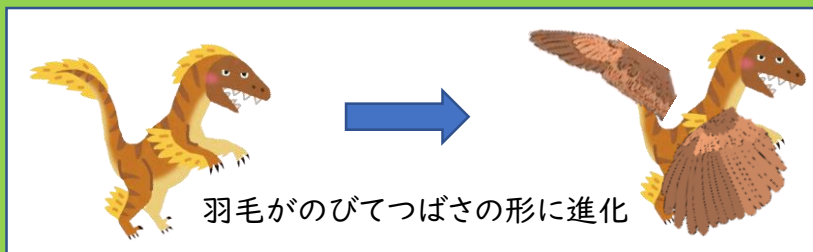


観点	評価
知・技	段落ごとに文章を読み、指示語が表す言葉や主語や述語に当てはまる言葉を整理プリントの空欄に書くことができた。
思・判・表	本文や整理プリントを読み、まとめプリントの空欄に入る言葉を書き、文章全体の内容を表わすことができた。
主体的な姿	問われたことに対する答えがわからない時には問われている言葉の前後の文章を読み返して答えを探す姿が見られた。



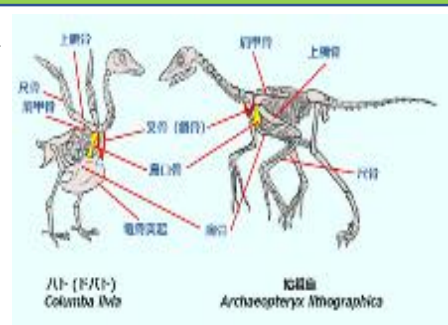
文章の内容をイメージしやすくしたり、内容を確認したりするために

イラストを使って内容を視覚的に示し、本文の内容に合わせて提示したり、操作したりした。



羽毛がのびてつばさの形に進化

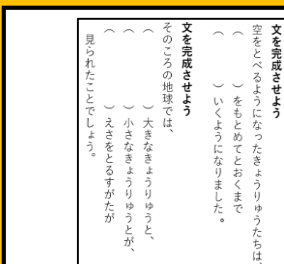
文に書かれている違いや類似点を示した



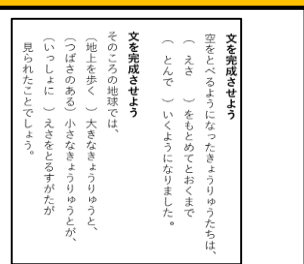
段落ごとの内容を読み取るために

段落ごとの内容についての理解を深めるために、整理プリントを使い、最後にまとめプリントで段落の内容を表す文章ができるようにした。〈整理プリント〉

〈まとめプリント〉

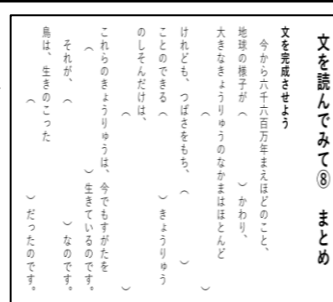


選択肢から選ぶ



本文の中から書き出す

整理プリントをもとに、段落全体の内容を整理



考察

イラストを使って、文章の内容を視覚的に示すことや生徒がイラストを操作することが、文章の内容の理解のために効果的であったと考える。今後は主語と述語のつながりや指示語が指す言葉、出来事の順序など正しく理解できているか、文章を読んだ後の確かめの場面で使うようにしていきたい。

指示語の説明では、指示語が指す言葉を見つけるために、指示語が指す言葉よりも前の文章から言葉を探す様子が見られたが、指示語の後の文章にも手がかりがあることがわかるようにし、指示語が指す言葉を読み取れるようにする必要があった。